

陽だまり通信

“今、私たちに出来る事を”

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、被災された方々、ご家族の方々にご心からの御見舞いを申し上げます。そして被災地の一日も早い復興をお祈りしています。

この度、東北地方を襲った未曾有の災害は、日本中、いいえ世界中に大きな傷跡を残しました。TVなどで流れる、見渡す限り破壊された平地の映像は、愕然とするばかりです。涙があふれて止まりません。

先日、子どもたちと一緒に平和記念館を訪れました。実は、私のおばが当時14歳で学徒動員され、広島市内で被爆しました。おばを捜して入市した父や祖父に見えられ、佐伯町に連れて帰ったのですが、翌日亡くなったそうです。身内におこった「被爆の悲劇」を子ども達に伝えようと足を運んだのです。

私たちは、六十六年前に確かに原子爆弾による破壊を受けていたのです。当時の写真と、この度の被災地の映像が重なるように感じました。倒壊した家屋やがれき。あたり一面、破壊された平地……。その破壊をもたらしたのが原子爆弾と津波の違いはありますが。

この度の壊滅的な打撃は、本当に大きな悲劇をもたらしました。でも、私たち広島県人は、六十六年前に、同じような状況から立ち直り、現在の広島市の復興を果たしています。東北地方の方々も必ずや見事に復興を遂げられると信じています。

同じように壊滅的な打撃を受けた県民として、東北の人たちにエールを送りたい。私たちは、今、自分たちに出来る事で、支援を始めています。来院してくださった方、そしてスタッフ達は、義援金を出し合っています。法人からも送らせていただきました。

がんばれ、東北地方の人達!!
 がんばれ、日本!!!

理事長 福田 純子



CONTENTS

特集 アンケート結果報告

リハビリだより／職員サークル紹介／施設情報
 私の手洗い大丈夫です!／カーサミア工事進捗状況&お知らせ
 フラワーアレンジメント

<http://www.amano-reha.com>

特集

入院中の患者様・ご家族様へのアンケート結果報告

アマノリハビリテーション病院
看護教育部長 中塚 雅子

1 はじめに

現在、医療は主体性を尊重した満足するサービスが求められ、看護・介護においては、ケアの質やマナー力のアップ等が常に求められて来ています。

私たちは、患者にとって安全で安楽なケアを目指して日々支援しているつもりですが、提供しているケアを患者・家族の皆様がどのように受け止められているか、客観的なデータは持っていない、どちらかといえば看護師・介護士の側からの観察による把握にとどまっています。

アンケート調査実施のきっかけは、3年前天野院長から患者・家族の方々のご希望やご意見を調査するようにとの意向がありました。

2 結果について(左記)

同じ内容で同時期の12月に実施いたしました。

アンケート用紙を96名の患者様・ご家族様にお配りして、87名もの多くの皆様から回答いただきました。アンケート回収率は90%でした。

設問は、挨拶の仕方から看護師・介護士の接遇の有様を中心に11問にしました。(左記)

問1は、看護師や介護士から挨拶があるかに対して、「そう思う」75.9%。
問2.言葉づかいは丁寧かに対して、「そう思う」65.5%。
問3.おじいちゃん・おばあちゃんと呼ばれたことがあるかに対して、「ない」72.4%、「ある」21.8%。
問4.用事がありナースコール等の対応で「何かをしていても直ぐに」59.8%。「ちょっと待って」31%。

問5.看護師・介護士の身だしなみに対して、「よい」70.1%。
問6.私と眼と眼を合わせて分かりやすく説明してくれるかに対して「そう思う」70.1%。
問7.プライバシーに配慮してくれるかに対して、「そう思う」62.1%。
問8.私の意志を尊重し「どうしたいか」尋ねてくれるかに対して、「そう思う」57.5%。
問9.誰に対しても公平な対応を心がけるかに対して、「そう思う」63.2%。
問10.処置・ケアは丁寧で安心して任せられるかに対して、「そう思う」70.1%。
問11.家族に対してよく話しかけてくれるかに対して、「そう思う」60.9%。

葉遣いが丁寧・プライバシーの配慮・公平な対応・家族によく話しかける」の4項目、50%台では「ナースコール等への直ぐの対応・意志を尊重する」の2項目でした。

昨年度と比較して、評価が良くなった項目は、「視線を合わせ分かりやすく説明」が15%、「ナースコール等への対応で直ぐに」が10.4%、「何をすることも患者の意志を尊重する」が9.2%。「看護師・介護士の身だしなみがよい」が7.2%アップの4項目でした。

そして、評価がわるくなった項目は「公平な対応か」で7.7%、「言葉使いは丁寧か」の6.4%ダウンの2項目でした。

私たちの到達目標である満足評価回答80%台に達した項目は「つもなく、マイナスにダウンしたものもあり、まだまだ流動的で安定したサービスが定着しているとはいえない」と考えられます。

ただ、回答で「そう思う」と「ややそう思う」を合わせると11の

設問中10において80%を超えています。

また、昨年度と比較してみると、プラスにアップした項目のほうが多く、その内訳では、「視線を合わせた説明・ナースコール等へのすぐの対応・患者様の意志の尊重など」と、患者様の要求に近づき、よりよいケアを提供しようとする姿勢を評価いただいたのではないかと分析しました。

昨年度のアンケート結果から、今年度の看護部の業務目標の一つに「接遇マナー力アップ」を掲げて具体的に取り組んできたことで、少しですが前向きな変化をもたらして来ていると考えられ、これからの改善で進んで行けるとの思いを持つことができました。

最後に、「お気づきがあればご記入ください」の設問では、「良くしてもらっている・全体に明るい感じ・おしゃべりがひどくうるさい・スタッフの対応に個人差がある」等の大切なご意見やご要望をいただきました。

3 終わりに

アンケート項目からだけでは受け止められない貴重なご意見でした。

その中から早速改善できるものは、取り組みを開始してまいります。

今回のアンケート調査も、患者・家族の皆様のご協力により実施することが出来ました。心からお礼申し上げます。

調査結果につきまして、各病棟廊下への掲示とホームページにも掲載しております。

看護職員は患者・家族の皆様への負担を少しでも軽く「自分らしくよりよく生きていただく」ことを目標としております。そのためには、その時のその人の思いを共有することがとても大切です。

看護職員にとって必要な基本的姿勢と態度の一つに「患者様の理解と患者・家族の皆様との良好な人間関係の確立」があります。看護・介護は信頼関係確立の上でケアを開始しなければなりません。

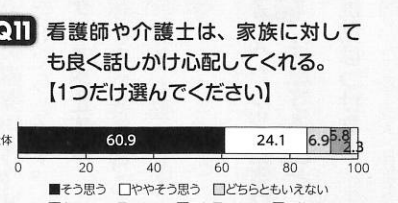
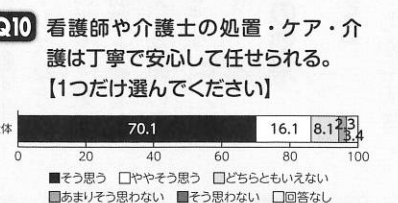
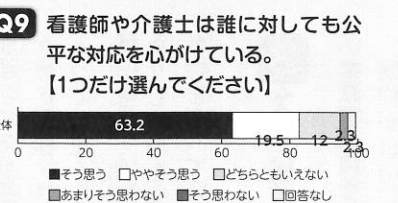
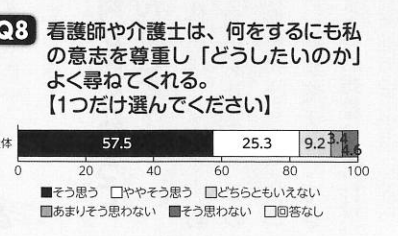
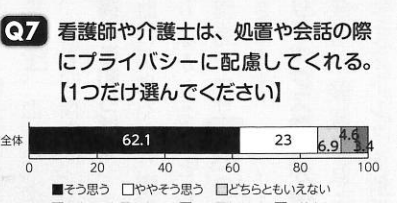
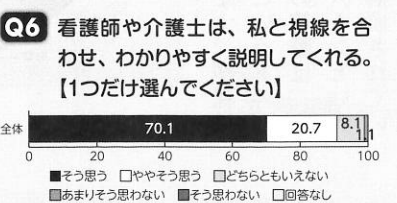
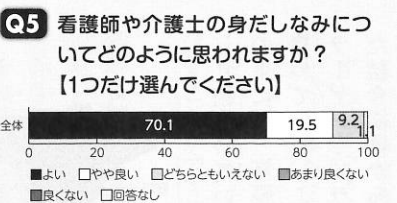
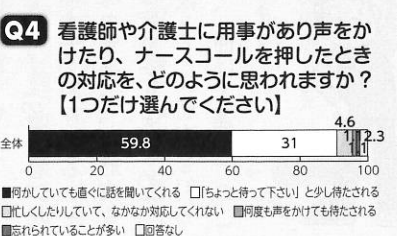
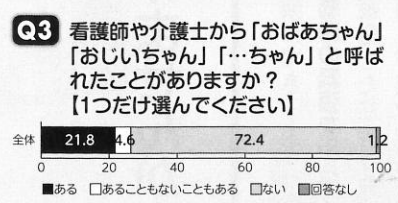
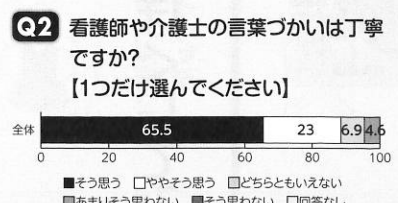
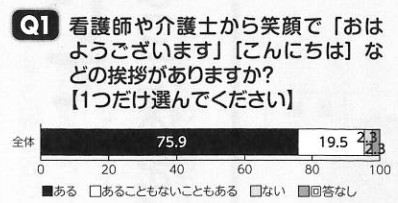
接遇・マナー力のアップがケアの質を左右し、ケアの質の向上には欠かすことが出来ないものです。今回のアンケート結果をこれからの改善に取り入れ、今年度の業務目標へと活かし継続して改善していききたいと思います。

入院中の患者様・ご家族へのアンケート

当院では、患者様によりご満足いただける病院になることを目指し、接遇の改善に取り組んでいます。皆様からの率直なご意見をお願いいたします。ご記入は患者様のご記入出来ない場合はご家族の方でお願いいたします。

なお、アンケート結果は、病院サービスの改善のみに使用します。

アマノリハビリテーション病院長 天野 純子



- お気づきあればご記入ください
- よくしてもらい感謝しています。
 - 糖尿なのでよい勉強になった。家に帰って色々考えた食事をすると思います。
 - おしゃべりがちょっとひどすぎ、うるさいことが多い。
 - エレベーター点検で1時間も足止めをくらうと不便です。
 - 患者第一に考えて働いていらっしゃる方と、そうでない方の個人差が大きいに思われます。
 - 総合的に配慮、気配りがすばらしい。教育が徹底されていることを実感いたします。
 - 時間の観念がルーズと思われる。
 - 全体に明るい感じで居心地がよさそうなので安心しており、表情も明るくなってきた。病院の環境が良いと思います。
 - リハビリを心をこめてやっていただいています。大変ありがたいと思っています。

- 看護師さんは親切です。
- 「ちょっと待って」は忙しいので仕方ないと思います。
- 暖房がないときの風呂はあとの湯冷めが心配です。
- 屋から夕食まで変わったことはないが見に来て欲しいです。
- ナースコールは直ぐに対応してくれるときもあれば、忘れられることもあります。
- 大変な仕事で忙しいと思いますが良く対応してもらおう。
- 先生には回ってきて欲しいです。そうすると頑張れると思います。
- 介護士さんの服装がばらばらな感じで、統一してあげたいと思います。
- 名札は十分に判読できる位置にしてください。
- 食事が豪華で贅沢です。
- とにかく衛生的に手袋をして欲しい。
- あまり丁寧すぎると気をを使う。
- お父さんと呼ばれることがある。
- 窓際は患者にとって望みたい場所です。輪番制など検討してもらいたい。お願いします。

リハビリ だより

ストレッチでハード

この冬で硬くなった体を、ほぐしてみませんか？

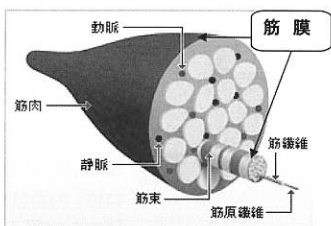
リハビリテーション部

理学療法士 川村美紀子

今年の冬は例年に比べ、とても寒かったですね。朝は、なかなか布団からでられない(でたくない)日が多かったのではないのでしょうか？そして、寒いと外出の機会が減り、運動不足：寒いから自然に体がまるくなる：なんだか「体が固くなった」「肩こりがひどくなった」などの症状はでていませんか？今回は、この冬で硬くなった体をほぐす「ストレッチ」について紹介したいと思います。



でのリフレッシュ(精神的リラクゼーション)や肩凝りなどの解消のためなど様々な形で取り入れられています。ストレッチ(Stretch)とは「伸ばす」「引っ張る」という意味の英語で、「筋肉をベストな状態にするために、その前段として筋肉を引っ張ったり、伸ばす運動」のことを指します。



しり詰まっています。筋線維の束には、筋膜というものが覆っており、この筋膜は、コラーゲンやエラスチンといった結合組織から構成されています。この筋膜は、運動不足、ケガ・緊張・ストレスなどによって、短くなったり、硬くなったり、他の筋膜と癒着したりして形を変え、筋肉の柔軟性を奪っていきます。

1 ストレッチとは？

近年、日本人の生活の中にも、「ストレッチ」という言葉をよく聞くようになりまして。スポーツを行う上でのウォーミングアップやクールダウン、エアロビクスやジムトレーニングなどのエクササイズとして、また、日常生活

2 筋肉が硬くなるってどんなこと？

人間の体には、なんと約400個の筋肉があります。この筋肉は、筋線維(きんせんい)という細い筋が集まってできっており、その筋線維の中には、さらに筋繊維の束が中にぎっ

3 ストレッチの効果

①柔軟な筋肉をつくる
動作が自由に、しかも大き

4 ストレッチを行う上で、注意すること

①反動はつけない
静かにゆっくりと、筋肉に

く楽にできるようになります

②筋肉の緊張を和らげる

疲労した筋肉は血液の流れも悪く、疲労物質が溜まった状態です。血液の循環を良くし、疲労回復を助けます。

③痛みを和らげる

血行が良くなり疲労物質が取り除かれることによって、筋肉痛やコリなどの痛みを緩和させます。

④リラックス効果が得られる

疲労が軽減されることによってストレスを解消し、精神的肉体的リラクゼーションをもたらします。

⑤ケガを防止する

体の柔軟性を得ることができ、けがの防止にもつながります。

ほど良い緊張を感じたところで止め、そのまま20〜30秒キープしましょう。

②段階的にストレッチしましょう

筋肉を1回で伸ばしきってしまうのではなく、数段階に分けてストレッチをしましょう。例えば、はじめに10〜15秒間ストレッチをしたら、一度姿勢を戻し、次にまた20〜25秒間ストレッチを行い、さらにまた30〜35秒間これを行うという具合に、段階的に時間や強度を増やしていきましょう。

③ストレッチしている筋肉を意識しましょう

自分がどの筋肉を引き伸ばしているのか意識してストレッチをする方が、効果がみられます。ただむやみに型おりにすると、肝心のところがストレッチできなかつたり、また余計なところに力が入って、傷めたりする恐れがあります。

④呼吸を大切にしましょう

ストレッチは、リラクセスをして行うことが大切です。呼吸を止めたり、歯を食いしばったりして行ってしまうけません。普通に呼吸をしながら、肩の力を抜いて行うようにしましょう。息を止めて無理に伸ばそうとすると筋肉が緊張してかえって伸びにくくなりますよ。

⑤オーバー・ストレッチはやめましょう

筋肉は、ある程度緊張が感じられるまでストレッチしないと、効果が生じません。しかし、痛いのを我慢して無理にストレッチすることは禁物です。

⑥毎日少しでも行う事が大切

ストレッチは、すぐに効果が出るものではありません。毎日の積み重ねで、柔軟な筋肉はできてきます。

⑦両側の筋肉をストレッチしましょう

筋肉は、片側の筋肉が緊張して短くなると反対側の筋肉がリラクセスして伸びるようになっていきます。片側だけに集中してストレッチをすると、反対側が緊張したままになってしまいます。交互に、

両側の筋肉を(前面と後面、左側と右側)ストレッチするように心がけましょう。

5 では、ストレッチをどうみまじろう！

肩から胸にかけてのストレッチ

①四つ這いの姿勢になり、両ひざを床につけて両手を前に伸ばします。

②両手を動かさずに腰を後ろに引いていきます。肩と胸の周りを伸ばすことができます。



肩から背中・腰にかけてのストレッチ

①四つ這いの姿勢から体を横に傾けて、腕、肩、頭で体重を支えます。

②もう一方の腕をゆつくりと上げていきます。肩から背中、腰まで伸ばすことができます。

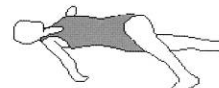


背中から腰にかけてのストレッチ

①仰向けに寝て両手を横に伸ばします。

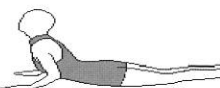
②片足をもう一方の足にクロスさせるように持っていき、体は逆向きねじります。背中から腰にかけて伸ばすことができます。

①うつ伏せになり胸の前に両手を置きます。



②腰が床から浮かないように少しずつゆつくりと、上体を反らせます。背中中の筋肉を伸ばすことができます。

①両手を真横に開いて立ちます。



脇や体側のストレッチ

②両手を回転させながら上体を前に倒します。脇や体側を伸ばすことができます。

①両足を外側に向けて股割の姿勢になります。



太ももの内側のストレッチ

②お尻をゆつくりと床に近づけていきます。



太ももの前面のストレッチ

①うつ伏せになり片脚を曲げ、足首を持ちます。

②おしりの方へ息を吐きながらゆつくりと近づけていき、太ももが伸びたところで静止します。



首の周りのストレッチ

①ゆつくりと頭で大きく円を描くように首を回し、首の前後や側面の筋肉を伸ばします。



最後に深呼吸です！

あら?!少し体が軽くなった気がしませんか? テレビをみながらでもいいです!寝る前の布団の上でもいいです!1日5分だけ、自分の体を労わってみませんか?

ヨガ

職員サークル紹介

ヨガ教室は、毎月2回金曜日 18:30~病院リハビリ室にて行っています。講師の先生のご指導のもと、もっともっと美しくなれるよう、修行に励んでいます。



ヨガを行った後のすっきりとした体の感覚は病みつきです。きつと日頃の老廃物がたまっているのでしょうか?最近では、ヨガ教室の日が待ち遠しいくらいです。体のメンテナンスという意味でもヨガって、とっても素晴らしいですよ。

今日のヨガは「ハト・ネコ・ラクダ…」何になるんでしょう?先生の芸術的なポーズに感動しながら、私たちが着実に進化しています。これ以上、私達だけ美しくならどうしましょう!(ホッホッホッ)

施設情報

医療法人ハートフルのさまざまな施設で行われた催しをご紹介します。

アマノリハビリテーション病院

「アマノ」神社で初詣

初詣は、日本人にとっても大切な行事です。当院の入院患者様も初詣に行きたいのではないかと考え、はじめて正月をオープンする回復期リハビリ課では、「アマノ」神社を建立することにしました。鳥居は宮島の大鳥居を模倣して作成。お賽銭（模擬紙幣）や絵馬に願い事や目標を書いたりして、今年一年がよい年であるよう祈りました。

元旦から正月の音楽を流し、書初めをし、羽子板やこまなどで楽しんでいただきました。飾り付け期間は当初3日間の予定でしたが、患者様から要望があり20日飾ったのち、平良地区のどんと焼きでお払いしていただきました。

我々リハビリスタッフは、入院していても特別な生活空間にならないよう、365日、「文化や価値」を大切にした日々を送って頂ける工夫をしていきたいと考えています。廿日市や広島で大切な行事があればぜひお知らせください。素敵な空間を創出いたします。

あまのクリニック

「新年会」

クリニック3階の医療デイケアでは1月27日に恒例の「新年会」を行いました。

スタッフの出し物では、可愛い衣装を身に付けてダンスを踊ったり、歌が得意なスタッフのムードのあるデュエットショーがあったり、利用者様にも大変喜んでいただけたのですが、中でも「一番楽しんでもらえたのが「二人羽織」です。これもすっかり新年会の定番となりました。後ろから食べさせるスタッフも上手で、食べるスタッフの顔や口の周りがミートソースだらけになっています。

スタッフも利用者様もたくさん笑って楽しい新年会となりました。



ゆづゆあまの

「福笑い」

ゆづゆあまのでは、1月の数日間、午後のレクリエーションの時間に「福笑い」を行いました。

利用者様それぞれにおもしろい素敵な顔が出来上がり、目隠しを取られると思わず笑顔になつておられました。完成した福笑いと記念撮影も行いました。ゆうゆうあまのでは、午後のレクリエーションの時間に、ゲームや歌の会、ボランティアの方をお招きしての催しを日替わりで行い、利用者の皆さまと楽しい時間を過ごすことができよう取り組んでいます。

これからも楽しいゲームや催しで、「一緒に笑って、「今日も楽しかった」という一言が頂けるよう、職員一同努力していきたいと思えます。



ハートフルあまの

「調理活動」

ハートフルあまのでは、1月3月にかけて毎月1回調理



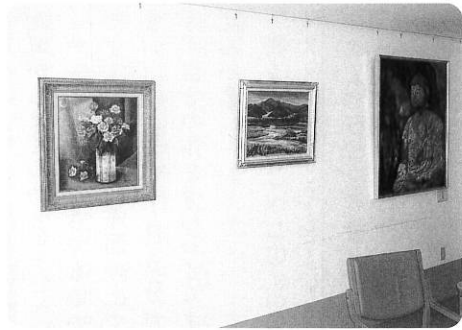
活動を行いました。2月は利用者様と話し合った結果、「たこスバゲティ・ポテトサラダ・コーンスープ」にメニューが決まりました。2グループに分かれて調理を行いました。包丁やスライサーを使って野菜を切ったり、鍋で具材を炒めたりと皆さま積極的に取り組まれていました。利用者様とスタッフみんなで協力し、どのメニューも美味しく出来上がりました。おかわりをする方も多くいらつしやり、笑顔も見られ楽しい昼食となりました。

普段とはまた違った利用者様の表情も見ることができ、今後も調理活動を継続していきたいと思えます。

望海の里

「絵画の展示会」

望海の里では、施設の近隣で、絵画の指導をしてもらえる岡川先生にご協力いただき、先生の作品を展示しています。場所は、1階の食堂で、何もない白い壁がとても華やかになりました。利用者の中には、絵画をしてもらった方もおられ、絵の話で盛り上がりつつありました。



私の手洗い

大丈夫です!

アマノリハビリテーション病院
看護統括部長 広瀬とし子



院内感染防止にもっとも大きな影響を及ぼすといわれる「手洗い」の重大性は医療・看護に従事する職員であれば誰しも認識しているところです。だからこそ、私たち職員一人ひとりが十分な手洗いができているつもりでありました。

このたび、院長をはじめとする私たち職員の「院内感染を防ぎたい」との強い思いで、病院内に3台の「手洗いチェッカー」を整備いたしました。まずは職員数の多い病棟に2台（2階・3階に各1台）、リハビリ室に1台設置しました。

職員はまず手洗いを行った後、手洗いチェッカーで手洗いの手指の汚れの落ち具合を確認することにしたのです。



手洗いチェッカー

手に特殊ライトの光を当てると、汚れが残っている部分が光り、適切な手洗いができているか確認することができます。

この手洗い後の洗い残し状況を「手洗いチェッカー」で確認することで、これからも院内感染防止に寄与し、安心してできる環境を築いていきます。

が、いつもどおりの方法で洗った後に手洗いチェッカーで確認してみると、一般に洗い残しが多いと言われている親指・手首・指の付け根・爪の周囲等のどこかに洗い残しがあることが多々ありました。

今までは、きれいに手洗いしていたつもりでありましたが、結局は自分の手洗い方法では汚れが残っていることを

知り、それからはより丁寧に手洗いをし、手洗いチェッカーで確認できた洗い残しを中心に手洗いをするようにしました。

今後定期的な手洗いチェッカーを使い、自分の手洗いの洗い残しを確認していき、手洗い方法を修正していく必要性を強く感じました。

また、病院内での感染情報収集・教育・啓蒙・改善活動を担当する各職場のリンクナースが中心になって、スタッフたちの手洗い方法の変化の確認をする他者評価を行うことで、より職員の手洗いに對する意識が高まるのではないかと考えています。

●入居時にかかる費用

【変更前】		【変更後】	
申込金	100,000円	申込金	100,000円
入居一時金	900,000円	入居一時金	廃止
敷金	390,000円	敷金	390,000円
合計	1,390,000円	合計	490,000円

介護付有料老人ホーム カーサミア 工事進捗状況 & お知らせ



介護付有料老人ホーム
カーサミア 開設準備室
(介護付有料老人ホーム望海(のぞみ)の里内)
〒739-0414 広島県廿日市市宮島東2-13-15
TEL.0829-56-4580
FAX.0829-56-4570

FLOWER ARRANGEMENT

フラワーアレンジメント



森川 律子 作

新年を迎える玄関を美しく華やかな空間に整える。
 今回はお正月花にふさわしい松と柳、胡蝶蘭、菊、葉牡丹、南天を使った森川看護部長の作品です。
 形を創るものと間を埋めるものの花材選びがとても上手く、左右と奥行きバランスが素晴らしいです。胡蝶蘭を使うのは初めてでしたが、高さを活かした生け方で、美しさを十分表現しています。また、南天には、難を転ずるといいう意味もあり、お正月によく使われます。

講師 木村 里美

天野 純子…内科・リハビリテーション科 福田 裕恭…内科・心療内科 中島 康…内科・循環器科 青森 和俊…内科・心療内科 山根 浩介…内科・放射線科
 亀尾 等…内科 木村 浩彰…リハビリテーション科 日域 育子…リハビリテーション科 奥田 由香…皮膚科 河村理英子…小児科 西山奈緒子…内科

アマノリハビリテーション病院

2010年1月現在

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時 ～12時	内科	中島 康 内科・循環器科	天野 純子 内科・リハビリ	山根 浩介 内科・放射線科	亀尾 等 内科	山根 浩介 内科・放射線科	山根 浩介 内科・放射線科
	心療内科・神経科	青森 和俊 内科・心療内科・神経科	—	—	青森 和俊 内科・心療内科・神経科	青森 和俊 内科・心療内科・神経科	福田 裕恭 内科・心療内科
午後		休診					

あまのクリニック

診療		月	火	水	木	金	土
午前 9時 ～12時	内科	山根 浩介 内科・放射線科	—	休診	天野 純子 内科・リハビリ	亀尾 等 内科	亀尾 等 内科
	心療内科・神経科	福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科		福田 裕恭 内科・心療内科	福田 裕恭 内科・心療内科	青森 和俊 内科・心療内科・神経科
午後 2時 ～5時	内科	—	中島 康 内科・循環器科		—	—	—
	心療内科・神経科	福田 裕恭 内科・心療内科	—	福田 裕恭 内科・心療内科	—	休診	福田 裕恭 内科・心療内科

※急患はこの限りではありません。お気軽にお問い合わせのうえ、受診してください。 ※都合により、外来担当医が変更になる場合もございます。ご了承ください。



医療法人ハートフルは、みなさまへのよりよい情報提供に努めています。

医療法人 ハートフル <http://www.amano-reha.com>

アマノリハビリテーション病院

廿日市市陽光台5-9 TEL.0829-37-0800

診療科目 内科・リハビリテーション科・神経科・心療内科・循環器科・皮膚科

診療時間 午前9時～12時

休診日 日曜・祝日

●児童デイサービス



あまのクリニック

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5151

診療科目 内科・循環器科・心療内科・リハビリテーション科

診療時間 午前9時～12時 午後2時～5時

休診日 水曜・金曜(午後)・日曜・祝日

●通所リハビリテーション ●重度認知症患者デイケア

■高齢者デイサービスセンターゆうゆうあまの

廿日市市新宮1丁目13-1
 廿日市市総合健康福祉センター あいプラザ内3F
 TEL.0829-20-1620
 電話対応可能時間 全曜日可能
 午前8時30分～午後5時30分

■訪問看護ステーションハートフルステーションあまの

廿日市市串戸5-1-37 TEL.0829-31-5212
 電話対応可能時間 月曜～金曜
 午前8時30分～午後5時30分

■地域活動支援センターハートフルあまの

廿日市市新宮1丁目13-1
 廿日市市総合健康福祉センター あいプラザ内3F
 TEL.0829-20-1624
 電話対応可能時間 月曜～金曜 午前8時30分～午後5時30分

■広島西障がい者就業・生活支援プレセンターもみじ

廿日市市新宮1丁目13-1
 廿日市市総合健康福祉センター あいプラザ内3F
 TEL.0829-20-1227
 電話対応可能時間 月曜～金曜 午前9時30分～午後5時

■アマノ居宅介護支援事業所

廿日市市串戸5-1-37
 TEL.0829-31-5213
 電話対応可能時間 月曜～土曜
 午前8時30分～午後5時30分

■介護付有料老人ホーム望海の里

廿日市市宮島口東2-13-15
 TEL.0829-56-4580